

## 第5学年○組 国語科学習指導案

指導者 柴田 文彦

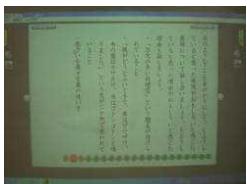
### 1 単元名 物語のおもしろさを考えて読み味わおう「注文の多い料理店」

### 2 単元の目標

- (1) 物語に興味をもって、おもしろさの工夫を探しながら読むことができる。  
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 物語のおもしろさが伝わるように表現を工夫して書くことができる。  
(書くこと)
- (3) 表現の工夫やおもしろさについて話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  
(読むこと)

### 3 ICT活用のポイント

#### (1) 電子黒板



- ① 活用のねらい
  - ・活動内容や手本を大きく提示することで児童が見通しをもって活動に取り組むことができるようとする。
- ② 活用の工夫
  - ・表示を指し示したり、サイドラインを引いたりして、説明や指示が明確に児童に伝わるようとする。

#### (2) 実物投影機

- ① 活用のねらい
  - ・自分の考えを画面に指し示しながら説明することにより、他の児童に理解しやすいようとする。
- ② 活用の工夫
  - ・焦点化したい箇所にラインを引いたり囲んだりしながら話すことで、自分が伝えたいことを効果的に話したり、話の中心に気を付けながら聞いたりすることができるようとする。
  - ・意見を可視化し、活発な交流活動となるように、児童の考えを記入したホワイトボードやノートを映す。

### 4 本時の学習(6/9)

#### (1) 目標

- ・表現の工夫やおもしろさについて話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。  
(読むこと)

#### (2) 展開

時間	学習活動及び内容	・指導上の留意点○個別の支援○評価
10分	1 本時の学習課題を確かめる。  話し合いを通して、表現の工夫やおもしろさについての自分の考えを広げたり深めたりしよう。	・本時の活動内容、話し合いの観点や進め方を示し、見通しと意欲を持って学習活動に取り組むことができるようとする。 ・学習の進め方を黒板に示し、いつも児童がそれを確かめながら学習を進めることができるようとする。
25分	2 前時までの学習で心に残った表現を振り返る。 3 ペアで話を聞き合う。 ①工夫していると思った表現、面白いと感じた表現を挙げる。  ②特に優れた表現と効果について話し合う。  ③作者の意図や作品のよさについての相手の考えをまとめる。 4 4人グループで、ペアの話し合いでまとめられた考えを紹介し合う。	・ノートや教科書を見返し、心に残った表現を想起できるようとする。 ・ペアで質問をする際、お互いに相手の意見に共感的な態度で聞いていくこと、ホワイトボードに相手の考えをメモしながら聞いていくことを確認する。 ○話形を確認することで、相手の思考を広げたり深めたりするための質問ができるようとする。 ・ホワイトボードの記述を見ながら話すことで、相手が考えを深めることができます。 ・ペアの話し合いで相手に書いてもらったメモを基に話し合うことで、自分の考えを広げたり深めたりすることができます。 ○記述を基に話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 (観察)
10分	5 友達の発表を聞く。  6 自分の考えをまとめる。	・感じ方の違いを考えながら発表を聞くことができるよう助言する。 ・ノートに考えをまとめ、次時の学習につなげられるようする。